



PECCO² Vol.29 2014.11

発行 岩手県立図書館

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号

TEL019-606-1730 FAX019-606-1731
E-Mail homepage@library.pref.iwate.jp
HP <http://www.library.pref.iwate.jp/>

特集
そめちゃんぐやく!
 図書館探検記 その11



書庫あれこれ

県立図書館には、フロアに出ていない資料もたくさんあります。それらの資料はいったいどこに所蔵されているのでしょうか?今回は、普段なかなか入ることができない書庫をそめちゃんがご案内します!

①貴重書庫

盛岡藩時代の絵図や古文書など、昔の本が収められています。



貴重書庫入口



金庫みたいな入り口の中には、図書館の宝物が入っているんだね♪

②自動化書庫



自動化書庫は建物2階分の高さがあり、すべて機械管理です。1階～4階の各階に取り出し口があり、資料の入ったコンテナがベルトコンベアーによって運ばれてきます。



職員の人々がこんなふう画面を操作して機械を動かしているんだよ。コンテナの数は9,654個あって、約40万冊の本を収蔵することができる書庫なんだって!

③郷土書庫



岩手に関する歴史の本や小説、調査報告書を収めています。

郷土の生んだ代表的な文豪、宮沢賢治と石川啄木に関する資料を、「賢治文庫」「啄木文庫」として所蔵しているのもこの書庫なんだよ!

④集密書庫



岩手県立図書館でいちばん本がある場所です。現在ここにはおおよそ45万冊の図書資料等が所蔵されています。最大で83万冊を収蔵することが可能です。



電動で動く書庫で、本棚の数は553架。ボタンを押すと本棚が動くんだよ!



図書館♪さんぽ
 ~コンセルジュガイドツアー~

岩手県立図書館では、館内を見学できるツアーを定期的に開催しているよ!今回紹介した書庫も実際に見学することができるので、お友達や家族のみんなぜひ参加してみてもね♪待ってるよ~!



県立図書館スタッフおすすめの本

ポスターを盗んでください

757.04
 ハ1
 1

原 研哉 著/新潮社 出版

グラフィックデザイナー原研哉の著書。エッセイのように書かれているので読みやすく、デザインに興味のある方は面白く読めるはず。日常使っているありとあらゆるものは誰かにデザインされたものなのだ。と、ものを見る目が少し変わったかも。

世界のドア

世界各国のドアだけを集めた写真集なのに、どれも異国情緒あふれるドアばかり。周りの風景はどんなだろうとか、この住人はどんな人なのかと、想像力をかき立ててくれる写真集です。

748
 シュ
 ヘルンハルト M. シュミット 著
 ビエ・ブックス 出版



イベント案内

企 映 休
 画 お は 館
 展 な し 展
 会 会 日

おはなし会

11月	12月	1月
② 3 4 5 6 7 ⑧ 9 10 11 12 13 14 15 ⑩ 16 17 18 19 20 21 22 ⑬ 23 24 25 26 27 28 29 30	⑦ 8 9 10 11 12 ⑬ 14 15 16 17 18 19 20 ⑭ 21 22 ⑮ 24 25 26 27 28 29 30 31	④ 5 6 7 8 9 ⑩ 11 12 13 14 15 16 17 ⑪ 18 19 20 21 22 23 24 ⑫ 25 26 27 28 29 30 31
○おはなし☆すてーしょん	◇手づくりかみしばい	♡ファミリーおはなし会
	14:30~	
	11月 2日, 16日	12月 7日, 21日
	1月 4日, 18日	
	8日	13日
	23日	25日

休館日
 11月 28日 (金)

12月 26日 (金)

年末年始
 12/29~1/3 (月) (土)

1月 30日 (金)

映画会

11月	12月	1月
2 3 4 5 6 7 8 ⑨ ⑩ 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 ⑬ ⑭ 25 26 27 28 29 30	7 8 9 10 11 12 13 ⑭ ⑮ 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 ⑯ 28 29 30 31	4 5 6 7 8 9 10 ⑪ ⑫ 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 ⑬ ⑭ 27 28 29 30 31
子ども	11月 9日, 23日	12月 14日, 28日
一般向け	14:00~ 9・10日/23・24日	14・15日/28日
	1月 11日, 25日	11・12日/25・26日

企画展 第31回 啄木資料展

期間 10月3日(金)~11月24日(月・振休)

会場 4階展示コーナー

「第68回読書週間」(10/27~11/9)に合わせ、過去2年の間に当館が新たに収集した石川啄木関連資料を一堂に集めて展示します。

企画展 かるた 今むかし

期間: 12/5(金)~1/25(日)

会場: 4階展示コーナー

かるたを中心に、すごろく・囲碁など、世代を超えて楽しめる伝統的なお正月遊びを紹介します。県内各地で作られた郷土かるたや方言かるた・啄木かるたなど、図書館所蔵のかるたが大集合します!

2014年7月～9月 おすすめの郷土資料

旧暦で日本を楽しむ

千葉 望 著／講談社 出版

「願はくは花のもとにて春死なんその如月の望月のころ」—そう西行が詠んだ“如月”とは2月ではない？織姫と彦星が会おうはずの七夕はなぜ梅雨の真つ最中？これらはすべて暦のいたずらによって起きたことなのです。新暦と日本の自然とのずれに悩んできた岩手県出身の著者が、忘れてしまった季節の移ろいを「旧暦」で蘇らせてます。



日本人が知らなかった中東の謎

佐々木 良昭 著／海竜社 出版



なぜ科学の時代に神を信じられるのか？世俗主義とイスラム主義とは何か？中東に関する素朴な疑問に答え、イスラム教とその社会、現地の人々との付き合い方を、ビジネス・ノウハウも盛り込んで解説しています。著者は岩手県出身です。

前世探偵 カフェ・フロリアンの華麗な推理

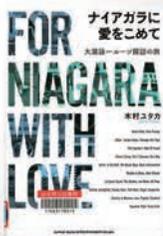
大村 友貴美 著／KADOKAWA 出版

繁華街の裏道にひっそりと建つ「カフェ・フロリアン」。古くみずばらしい外見に反して、内装は豪華絢爛。女装のママは前世が見える評判で、日々、悩みを抱える相談者が前世の記憶を探って解決してほしいと訪れますが…。前世の因縁と現世の謎を解き明かす、ユーモア・ミステリー小説です。著者は岩手県出身です。



ナイアガラに愛をこめて 大瀧詠一ルーツ探訪の旅

木村 ユタカ 著
シンコーミュージック・エンタテイメント 出版



「君は天然色」「恋するカレン」「A面で恋をして」…。大瀧詠一さんが遺した珠玉の名曲のルーツとは？左ページにルーツとなる楽曲、右ページに大瀧関連楽曲を掲載することで、その関係性が一目で分かるようになっています。膨大な音楽知識から生まれたナイアガラ・ポップスを徹底解析します。

一点突破 岩手高校将棋部の勝負哲学

藤原 隆史・大川 慎太郎 著／ポプラ社 出版

マイペースな校風の中高一貫男子校・岩手高校が、「頭脳の格闘技」といわれる高校棋界で頂点を極めた背景にある秘策とは？たった3人でゼロから始めた弱小クラブを全国屈指の強豪に育て上げた名顧問が、生徒たちと歩んできた20年間と独自の指導論を語ります。大川慎太郎氏による高校将棋選手権・観戦記も収録。



あいうえどうぶつ おしごとなあに

小野寺 悦子 文／加藤 チャコ 絵／福音館書店 出版



「あいうえおんどり／アナウンサー／おはよう／いいこえ／おえういあ」。おんどりのアナウンサー、ごあらのコックさん、とらのトラック運転手、ももんがの漫画家など、いろいろな動物の職業を、リズムよく紹介する楽しいことは遊びの絵本です。岩手県在住の著者は元アナウンサーです。